

# 一 般 質 問

令和6年第3回(6月)三股町議会定例会

1

発言順位	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手		
1	内村 立吉	1 防災機能を備えた給食センターについて	① 地震や台風など大災害が起きて、生活インフラが壊れても防災機能を持つ給食センターが新設されているが、このことについての考えはどのようであるか	教育長		
		2 小・中学校の健康診断について	① 文部科学省では、学校健康診断について、体操服や下着を着用することとし、また医師が必要に応じて診るケースなどがあることから、事前に保護者、児童生徒に説明することを求めているが、このようなことがなされているか	教育長		
			② 検査や診察をする時の対応として、男女別として、身体が周りから見えないスペースが用意されており、女性に立ち会う先生は女性がなされているか	教育長		
			③ 会場は人数を最小限にした上で、他の生徒らに結果が知られないようにするなどなされているか	教育長		
		3 熱中症対策の取り組みについて	① 熱中症特別警戒アラート始動に伴い、小・中学校の熱中症対策はどのようであるか	教育長		
			② 小・中学校の運動会についてはどのようであるか	教育長		
		4 ふるさと納税について	① 寄付者への地方特産品の贈呈の内容はどのようであるか	町長		
			② 利用環境の整備の内容、推進事業費が大きく増えているのはどういふことか	町長		
		2	田中 光子	1 重層的支援体制整備事業について	① 本町の既存の相談支援等の取り組みを活かしつつ、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の取り組みは	町長
					② 地域共生に資する取り組みの促進で、多様な担い手の参画による地域活動の普及促進は	町長
③ 実情に応じて包括的な支援体制を整備するため、丸ごと相談できる「断らない相談支援窓口」を設置するべきではないか	町長					
2 高齢者支援について	① 高齢者を在宅で介護している家族に対しクーポン券が支給される介護用品支給事業があるが、条例にあてはまるにもかかわらず対象とならない家族がいるのはなぜか			町長		
	② 相談窓口では、相談者の困りごとを自分事として受け止められるような対応がなされているか			町長		
	③ 専門的な知識が必要となる窓口で、厚生労働省発表の「市町村・地域包括支援センターによる家族介護者支援マニュアル」は使用されているか			町長		
	④ 本町は《生き生きと暮らせる まちづくり》介護予防のため、ボランティア活動の促進に取り組んでいるのに、施設の利用料や電気代などをボランティアに負担させているが負担が大きいのではないか			町長 教育長		
3 健康の保持やリスクの改善のための取り組みについて	① 高齢者の長寿並びに障がい者の自立及び社会参加への自助努力を促す取り組みは			町長		
	② 温泉には、体を休める「休養」・健康を保つ「保養」・病気を治療する「療養」という「3つの養」があるといわれている。健康保持のため温泉券を発行しては			町長		

# 一 般 質 問

令和6年第3回(6月)三股町議会定例会

2

発言順位	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手		
3	堀内 義郎	1 空家等除去推進補助事業について	① 空き家の現状及び今後についてどうなのか。	町長		
			② 一部補助についての周知はなされているか。又、相談件数はどれくらいあるか。	町長		
			③ 解体補助額について、居住誘導区域内、区域外に建つ空き家等の補助額が違う理由は。	町長		
			④ 除去後の跡地の利活用について、土砂災害警戒(特別)区域にある空き家の利活用として、解体後に建物は建てられるのか。	町長		
			⑤ 人口減小に伴い空き家が増えると思われるが、解体・除去の予算について増やしていくべきではないか。	町長		
		2 町道路面性状調査事業について	① 調査の結果と今後の計画については。	町長		
			② 霧島南部地区広域農道(宮村～梶山線)は舗装から10年経過し、劣化のため振動や騒音が激しい、早急に舗装の改善が図れないか。	町長		
			③ ラインを活用した道路の損傷を通報するシステムの構築は考えられないか。	町長		
		3 森林環境税について	① 森林環境税の徴収について、具体的な徴収方法は。	町長		
			② 森林環境譲与税の用途を公表するようになっているが、昨年度の取り組みは。	町長		
			③ 花粉対策として花粉の少ない杉・ヒノキの植林の普及支援はできないか。	町長		
		4 防災について	① 災害の多発に伴い、消防団内においてドローンの活用が期待されるが、本町としての取り組みはどうか。	町長		
			② ドローン隊の発足は考えられないか。	町長		
		4	堀内 和義	1 三股町水道事業の整備状況について	① 大規模地震に対処できる主要水道管の耐震化は進んでいるのか。国は2028年度までに60%超とする目標を掲げているが、本町の取りくみ目標設定はあるのか問う	町長
					② 水道管の法定耐用年数は何年になっているのか	町長
					③ 町内水道管路の総延長と、うち法定耐用年数を超えた延長、経年化率はどうか	町長
④ 耐用年数を経過し老朽化した水道管の更新は進んでいるのか。現在の更新率と今後の更新計画は	町長					
⑤ 水道管の腐食、老朽化に伴う破裂、漏水事故の発生はないのか	町長					
⑥ 本町の水道料金と県内市町村毎の水道料金はどのような状況か	町長					
⑦ 大規模地震に備えた老朽化施設の更新や耐震化は喫緊の課題で、財源確保を見据えた水道料金の改定を検討する時期にきているのではないかと思うが、どのように考えているのか	町長					
⑧ 将来的な水道事業の広域化の考えはないのか	町長					
2 町内防災士について	① 町内に在籍する防災士と活動状況はどのようなものか				町長	
	② 定期的に防災士研修会は実施できないか			町長		
	③ 防災士の災害被災地へのボランティア派遣はできないか			町長		
	④ 今後の防災士の育成計画はあるのか			町長		
3 町道餅原線の道路整備について	① 町道餅原線の旧勝岡温泉入り口付近の道路において、排水が悪く降雨のたびに冠水しているが対策工事はできないか			町長		

# 一 般 質 問

令和6年第3回(6月)三股町議会定例会

3

発言順位	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
5	上西 雅子	1 放課後児童クラブについて	① 宮崎県各市町村では、放課後児童クラブの待機児童が問題になっているが、町の状況は。	町長
			② 一人親家庭の親から、子どもが小学4年生になった途端に、児童クラブを十分に利用できなくなった為、大変困惑している、という声を頂いた。 現在、4年生以上の児童には制限する施設が多い。子ども一人ひとりの状況や状態に合わせて、利用枠を考慮する事も必要ではないか。	町長
			③ 「放課後児童クラブ」という枠にとられず、民間の力を借りる等して、子どもを地域で見守る体制づくりも必要と考える。 今後の課題や展望を含めて、意見を聞きたい。	町長
		2 町営住宅のありかたについて	① 直近3年間の町営住宅の入居募集に対する応募と、その結果についての状況は。	町長
			② 現在の町営住宅は、複数世帯対応の部屋の方が多い。単身高齢者も入居可能とできる要件の緩和や、対応できるように、住宅設備等の改修が必要なのではないか。	町長
			③ 今後ますます独居高齢者が増加すると推察される中、町民の住宅確保についてどのように考えているか、町長のお考えは。	町長
		3 地域住民が互いに支え合える体制の整備について	① 公民館の加入率の推移は。	町長 教育長
			② 現在の公民館加入率の低下、民生委員のなり手不足の問題は、災害時等に地域で互いに支え合っていく体制を弱める事となり、またこれから増加する高齢者や障害者等をますます孤立させるなど、様々な影響があると思われる。何らかの対策をする必要があると思われるが、意見を聞きたい。	町長 教育長
			③ 民間集合住宅に住む人たちへの公民館加入を、不動産管理事業等に依頼する等の工夫も必要だと思うが、意見を聞きたい。	町長 教育長
6	中原 美穂	1 ごみ減量・資源化、ごみ処理問題・支部加入・公民館について	① ゴみの収集場所における住民トラブルは、自助・共助の枠を超えて社会問題化している。このような住民トラブルは、円滑な地域活動や自治会活動にも影響を及ぼしかねない。三股町としてごみ処理条例等を制定することは検討できないか。	町長
			② 令和2年12月の答弁に対して、地域住民10軒程度が集まり、収集場所の申請書を提出することで、ゴミ回収が可能となるとの提示があったが状況はどうなっているか。また申請書方式は現実的に妥当か。	町長
			③ 前回答弁にて「ゴミステーションの管理に要する経費を徴収するということは考えていない」との返答があったが、町民同士のトラブルが多い状況を踏まえ、町としての方針、解決策を示す必要はないか。	町長
			④ 各地区にて公民館活動への加入者離れが深刻化しているが、三股町の現状を踏まえ、どのようにお考えですか。	町長 教育長
			⑤ 各地区公民館の分館に、町民相談窓口の配置等を検討することはできないか。(ゴミ処理・交通安全・地域の活動説明等の窓口を含む)	町長 教育長

# 一 般 質 問

令和6年第3回(6月)三股町議会定例会

4

発言 順位	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の 相手
7	楠原 更三	1 合同会社みまたについて	① 3,000万円貸付事業の進捗状況。	町長
		2 ふるさと納税について	① 令和5年度の実績に対する評価。	町長
			② 企画商工課長がふるさと納税推進室長を兼ねるようにした意図。	町長
			③ 令和6年度の目標とそれに対する具体的取り組み。	町長
			④ 町外事業者へ委託している中間業務の割合。	町長
			⑤ 中間業務を委託できる町内業者の育成はできないか。	町長
		3 文化財について	① 今年度追加された事務分掌及び事務内容の具体的な取り組みは。	教育長
			② 町指定文化財の追加の動きは。	教育長
		4 ふるさと人材育成事業 (国内派遣)について	① 事業の目的の確認と今後の予定。	教育長 町長
			② 三股の温故知新に関連した訪問先は考えられないか。 (例)三島通庸公関連自治体やハート型の自治体	教育長 町長
			③ 今後、この事業を通して関係人口を増やすことにつなげてはどうか。	教育長 町長